第８１号
2021年 4月1日
発行

同推くん

発行・編集
海蔵地区人権・同和
教育推進協議会広報部
事務局地区市民センター内
電話　３３３－８７７０

「役員会で話題になったこと」

コロナコロナで様々な行事が中止される中、海蔵地区人･同協は広報紙「同推くん」だけは予定通り発行しました。今回は昨年の役員会で話題となった事について紹介させていただきます。紹介する事例はネットやYouTubeで見ることが出来ます。

「バンクシーがアメリカの黒人男性死亡事件を受けて作品投稿」（6月役員会）

バンクシーは鋭い社会風刺画で知られる覆面アーティストで、この作品には黒い人物の肖像の横に花やろうそくが手向けられ、肖像の上にあるアメリカの国旗がろうそくの火で燃え始める様子が描かれています。バンクシーは「最初、この問題についてただ沈黙し、黒人の言葉を聞くべきと考えていた」「しかしこれは彼らの問題ではない。私自身の問題だ」とコメントしています。

「大坂なおみ選手、警官による黒人男性銃撃事件に抗議」（9月役員会）

テニスの大坂なおみ選手が、警官による黒人男性銃撃事件に抗議して、ニューヨークで開催中のウエスタン･アンド･サザン･オープン大会の準決勝を棄権するというニュースが「日刊スポーツ（8/28）」紙に掲載されました。「私は明日の準決勝の試合をする予定でした。しかし、私はアスリートになる前は黒人女性です。また、黒人女性としては、テニスをしているのを見るよりも、すぐに気をつけなければならない重要な事柄があるように感じます」という抗議内容です。大会側が大坂選手の抗議に対し1日延期を提案、大坂選手もこれを受け入れました。メディアによると賛否についてアメリカでは賛同する声が多かったのに対し、日本では少なかったようだと分析しています。

「ナイキジャパンCMについて」（12月役員会）

日本に住むマイノリティの子どもたちを応援するナイキジャパンのCMに、一部のネットユーザーらが反発し、炎上状態になっている問題が海外メディアでも報じられています。CMの内容は、日本社会ではマイノリティである在日外国人であったり海外にルーツを持つ3人の少女がいじめや差別を受けながらも、スポーツを通じて乗り越えていこうとする反差別と多様性の尊重を強く打ち出したストーリーとして描かれています。反発発言は概ね「日本人を悪者にしている」「日本に差別があるかのように描いている」といったものです。海外メディアは、先進国が共有している反差別や多様性といった価値を少なからぬ日本人が共有していない可能性があることを示唆しています。

昨年に始まったコロナ禍は現在も終息する気配はありません。海蔵地区人権・同和教育推進協議会主催の講演会や研修会は、国、県、市町村の指針で中止となりました。同じ理由で他地区の催事も中止の報告がほとんどでしたが、先進的な試みとして、橋北地区はYouTubeの生配信、常磐地区はDVD配布という取り組みをされました。今後はこのような形を取り入れることが益々必要になってくると思われます。

感想やご意見などありましたら、海蔵地区地域団体事務局内、海蔵地区人権・同和教育推進協議会宛お寄せ下さい。（F）

コロナ禍だから、今　考える

同推くんも8月、12月と新型コロナウイルス感染症と人権についての原稿を書いてきました。
コロナ禍の前（1昨年前まで）は、日ごろの生活で、これだけ人権に対して考えることがなかったなと、ふと考えてみました。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、感染した方や営業時間の自粛をお願いされるお店に対する偏見や誹謗中傷がよく報道されています。また、日々、感染者数が新聞紙面に上がって来ます。どこの人、どこの病院、どこの施設だろうと考えてしまいます。

どうして感染したの、飲み会　宴会をしたから？感染拡大地域へ行って来たのかなと思い耽ることもありました。また、インターネットで感染状況を見たり、いろいろな書き込みを見たりしていました。そんななかで、感染した方の手記があり、ちょっと読んでみました。

その方は、50歳代の飲食店勤務の女性で、友人からの感染で発熱、味覚障害がありPCR検査で陽性になったようで、なぜか、感染情報が洩れてしまったとありました。その飲食店は休業を強いられ、いつのころか「コロナビル」などと言われだしました。この女性は、気持ちが落ち込み、人間不信になったと書かれていました。
また、全国的にSNSによる誹謗中傷も絶えません。

京都府では4月、住宅の壁などに個人名が記された複数の張り紙が見つかった。8月にクラスター（感染者集団）が発生した島根県の高校では「マスクも着けずにコロナをばらまいている」という書き込みが写真とともに拡散された。

〈どこかに遊びに行ったから感染したんだろう〉。飲食店を営む50代男性の感染は、知らないうちに同業者や客の間で広まった。入院直後には平熱に戻ったが〈年だから重症になっているらしい〉と尾ひれが付いていた。
感染への不安が広がる中で、男性は「自身や店に対する誹謗や中傷は覚悟していた」と話す。
ただ、体調を心配して店を訪ねてくれる客は多かった。【心配するな。お前は何も悪くない】。そんな言葉を掛けてくれる知人もいた。「こんな時に、人のつながりのありがたさを感じるんですね」

11月以降、感染は「第3波」が押し寄せ、さらに広がりを見せる。
国会では感染した国会議員らが中心になり、議員立法で感染した人たちに対する不当な差別を禁止する法案をまとめている。自治体レベルでも、東京都や茨城、岐阜、沖縄各県などが条例を制定しており、各地で動きがある。

社会の閉塞感や感染への恐れが生み出す「コロナ差別」は、感染した人に二重の苦しみを与える。【自分が感染したとき、こんな言葉を掛けられたらどう感じるか。自分事として捉えてほしい】。感染症が回復した女性は切に願う。

今、コロナ禍だから人権問題を考える　と原稿を書きだしました。

感染者への差別・誹謗などは、不幸にも感染してしまった方にするのは間違っている。【悪いのはコロナウィルスであり、感染者は被害者である】この事をよく考えて今後の行動を考え、まずは、感染しない対策、マスクの着用・人の集まるところへは極力行かない。
会話する場合は、極力密接を避けるなど。感染させない対策、極力人と人が密集しないような工夫を考え実行する。不幸にも感染された方があれば、協力できること、相談できる場を考えるなどと思っています。

今年のいつごろまで、コロナ禍が続くのか？いつごろ落ち着いてくるのかと思いながら、早く終息する事を祈りながら原稿の整理を進めています。　　（S）

新たな試み「オンラインフィールドワークに参加して」

2020ユーキャン新語・流行語大賞のトップ10にも選ばれた、「オンライン〇〇」ですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、人が集まる活動が困難となった昨今、さまざまなオンライン化が進み、オンライン診療、オンライン就活、オンライン授業、オンライン飲み会等、多くのオンライン〇〇が生まれました。

会社では、連絡は社内SNSやメール、会議や商談もオンライン。学校でもビデオ会議、Zoomなどの　アプリを用いて、小学校から大学まで授業のオンライン化が進んでいます。そして、大学生の中には、前期は一度も登校していないので友達も出来ないとの嘆きも聞かれたり、家庭によっては端末が用意できないなど、デジタル・デバイド（＝情報格差）の弊害も言われていますが、

2月3日、四日市人権大学ステップアップ特別講座2020(主催:四日市市人権センター)が、「昭和の四日市で考える人権の歴史」と題して、市内の各地と総合会館視聴覚室とオンライン参加の自宅を結んだ形でセミナーが開催されると聞き、慣れぬパソコン操作に四苦八苦しながら、参加させていただきました。

セミナーは、平日開催のこともあり、講師・スタッフと、現地レポーター3名、会場11名、オンライン14名の参加でした。

視聴覚室に控える講師の司会進行にて、「靖博地蔵尊（浜一色）」「四日市空襲殉難碑（鵜の森公園）」「慰霊碑（三ツ谷 多度神社）」「西唱寺の菩提樹（日永）」「平和の女神像（市民公園）」からの現地中継を挟みながら、パワーポイント資料の解説へと画面が切り替わっていきます。

運営いただいている方々は、四日市市人権センターの皆さんです。普段行われている集合形式の講座はお手の物でしょうが、オンラインにおいてもテレビに出てくるレポーターまがいで、なかなか堂に入ったもの。画面は、見る側に目を離させません。

今回ご紹介いただいた各地は、私たちが普段目にすることができる場所ばかりですが、解説いただいた当時の歴史を重ね合わせると、戦後75年を経た今でも残る姿とか、終戦後の平和を求めた足跡一つひとつが大切なもの、そして後世に残すべきもののように思われてきました。

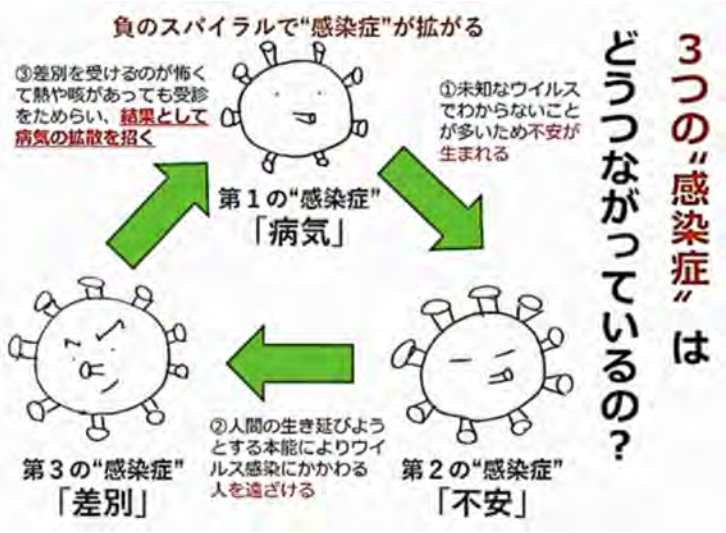
『今、私たちは、新型コロナウイルスにより世界的な困難に直面しています。対処策・治療方法が定まらないことによる、不安やストレスは人間の免疫力を低下させてしまう恐れがあります。

しかし、過去においても 疫病により多くの犠牲者がでたことがありましたが、それらを乗り越えてきた歴史があります。

現代においては、技術や情報の進歩、正確な情報を入手しやすい時代。　先が見えない中ではあるが、何十年か後においては、「当時 このような禍いがあり、人類はそれを果敢に乗り越えてきた。」と過去を振り返る時がきっとあると思います。』と締めくくられた言葉には、歴史とか人の世の重さを感じた次第です。

最後に、オンライン〇〇には、感染のリスクを減らし、時間を効率的に使えるなど、メリットがあります。機器操作に慣れていない場合、覚えるところから始める必要がありますが、機会があれば、是非チャレンジ下さい。（H）

新型コロナに関する差別や誹謗中傷
～どういう行為や発言が差別や誹謗中傷にあたるのか～



左図は、日本赤十字社から提供されている、新型コロナウイルスには3つの感染症『負のスパイラル』を図示したもの。

このウイルスには、3つの感染症の顔があるとしています。

1つ目は「病気」そのもの。

2つ目は「不安やおそれ」。

3つ目は「偏見・差別」です。

私たちは新型コロナウイルスについてまだまだ分からないことが多く、強い不安や恐れを感じてしまいます。

こうした不安や恐れからウイルス感染にかかわる人や対象を偏見・差別して日常生活から遠ざけることで安心感を得ようとします。

すると、感染したと疑われるのをおそれ、医療機関への受診をためらい、結果として感染拡大を招くことになります。

病気が不安をよび、不安が差別を生み、差別がさらなる感染拡大につながってしまう負のスパイラルが生まれてしまうと説明されています。

では、実際にどのような差別や偏見がおきているのかおさらいしますと、

○感染者への誹謗中傷

新聞や報道でも取り上げられているように、日本全国で、非通知で個人を特定するような電話がかかってきたり、SNS上で名前や画像を掲載されたりするという事例が起きています。

○医療従事者に対する誹謗中傷

医療従事者に対する誹謗中傷も確認されています。医療従事者がタクシーの乗車を拒否されたり、子供が保育園の登園を拒否されたりする事案も相次いでいます。

○差別につながる行為

このほか、自粛要請に応じない店への嫌がらせや、他県の車のナンバーへの攻撃、流行が拡大する地域から帰省した人への偏見なども差別につながる行為です。

新型コロナウイルスには、誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということはありません。感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持って行動することが大切です。（H）

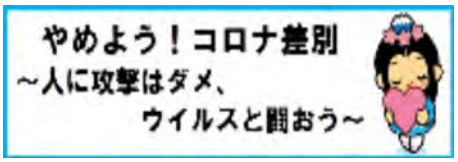
同推くんコラム

コ

今年（2021年）になっても コロナの
猛威は振るっています。
コロナの終息はいつになるのでしょうか?

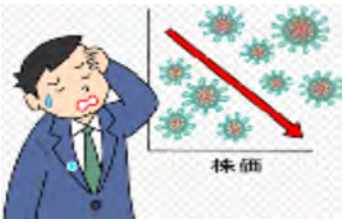
ロ

ろくでもない差別や偏見も
いまだに続いています。
とても悲しい事です。



ナ

なかなか経済状況も回復しません。
厳しく辛いものがあります。



に

人間に対する試練は
どこまで続くのでしょうか?
人類は未知のウイルスに
対抗できるのでしょうか?

負

負けません! 負けません!
がんばれ! がんばれ!
特に医療従事者の方達の
努力には 感謝の念で一杯です。

け

「健康第一」と云う言葉が実感として身に
沁みた2020年でした。
手指消毒、うがい、マスクは
外出時のルールとなりました。

る

涙腺がゆるむ時もあると思います。
ストレスはなるべく
発散させましょう

な

何事もコロナのせいにせず、
アフターコロナの楽しい生活を
想像してくらしていきましょう。

お知らせ

◎「定期総会」及び「委員研修会」開催のお知らせ

海蔵地区人権・同和教育推進協議会の2021年度定期総会を下記のとおり開催しますので、関係者のご出席をお願いします。
なお、新型コロナウイルス感染状況によっては日程などが変更となる場合がありますのでご承知ください　。
海蔵地区人権・同和教育推進協議会の2021年度定期総会を下記のとおり開催しますので、関係者のご出席をお願いします。
なお、新型コロナウイルス感染状況によっては日程などが変更となる場合がありますのでご承知ください。

記

1. 日時　2021年6月7日（月）19時～
2. 場所　海蔵地区市民ｾﾝﾀｰ中会議室
3. 議事　2020年度事業報告
　　2020年度収支決算報告及び
　　会計監査報告
　　2021年度体制
　　2021年度事業計画
　　2021年度収支予算
　　その他
4. 出席対象者
　　2021年度構成団体委員
5. その他
　　総会閉会後、引き続き、
　　第１回委員研修会を開催します。

2020年度「人権」に関するポスター優秀作品より
（三重県人権センター）

◇２０２１年度事業計画案

小紙が届く頃には、既に新年度のスタートを切られている組織も多くあろうかと思いますが、当協議会といたしまして、現在、主要行事の開催日程を、次のとおり計画したいと検討を進めています。諸行事とのバッティングを回避する観点から情報提供させていただきます。

ただし、新型コロナウイルス感染状況および総会前の段階であり確定したものではありませんが、今後の参考にしていただければと思います。

以降も、総会までの間、関係各位と互いの情報交換を重ね、更に詰めていくこととしたいので、情報提供いただける各組織の方々のご理解、ご協力の程、よろしくお願いします。

主要行事基本日程

４月１日（木）「同推くん81号」発行

６月７日（月）定期総会および
第１回委員研修会

７月16日（金）地区懇談会
（野田・清水ブロック）

８月１日（日）「同推くん82号」発行

８月20日（金）地区懇談会
（末永・本郷ブロック）

９月17日（金）地区懇談会
（西阿倉川ブロック）

１０月９日（土）第29回
人権を考える集い

１１月19日（金）第2回委員研修会

１２月１日（水）「同推くん83号」発行

◎同推くんのバックナンバーは、『かいぞう地区』のホームページからご覧いただけます。
http://www.kaizotiku.org/